



秋に咲く常緑のサクラ

「サクラ」と言えば春に咲くソメイヨシノやヤマザクラを思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。枝いっぱいに咲かせ、一斉に散るさまは花の代名詞として古来より和歌や俳句に使われ、日本人には親しみのある花木として知られています。

では、秋に咲くサクラがあるというのをご存じでしょうか。秋に?と思われる方もいますが、ここ熊野地域では秋に咲く、しかも常緑のサクラが自生しています。

それはリンボク (*Laurocerasus spinulosa*) とバクチノキ (*Laurocerasus zippeliana Browicz*) という和名の樹木です。実はこの2種、バラ科サクラ亜科に属し、ソメイヨシノなどのサクラの葉と同じような形態的特徴を持っています。葉と枝の間の葉柄という器官に蜜腺と呼ばれる蜜を分泌する器官を持ちます。なぜ、このような器官があるのかははっきりわかりませんが、最新の研究では甘い蜜を分泌することで主にアリをお



びぎ寄せ、葉を食害する虫を追い出してもらうことに役かっているとのことです。春に花を咲かせるサクラは、同じように葉柄や葉に蜜腺があるということで、近縁関係にあることが考えられます。

さて主役の花はというと、ソメイヨシノなどの春に咲くサクラとリンボクやバクチノキのように9~10月の秋に咲く花とは似ても似つかない花の姿をしています。リンボクとバクチノキは長い主軸に間隔をあけて花が配列する、総状花序という花の付き方をし、試験管を洗うブラシのような形をしています。しかも、葉は厚く光沢があるため葉ばかりが際立ち花が目立つことはありません。

沿岸部を中心に見られるリンボクとバクチノキ。秋、照葉樹の森で密かにそして力強く咲いているこの2種のサクラを見つけてください。葉や花をじっくり観察すると驚きと思わぬ発見があるかもしれません。

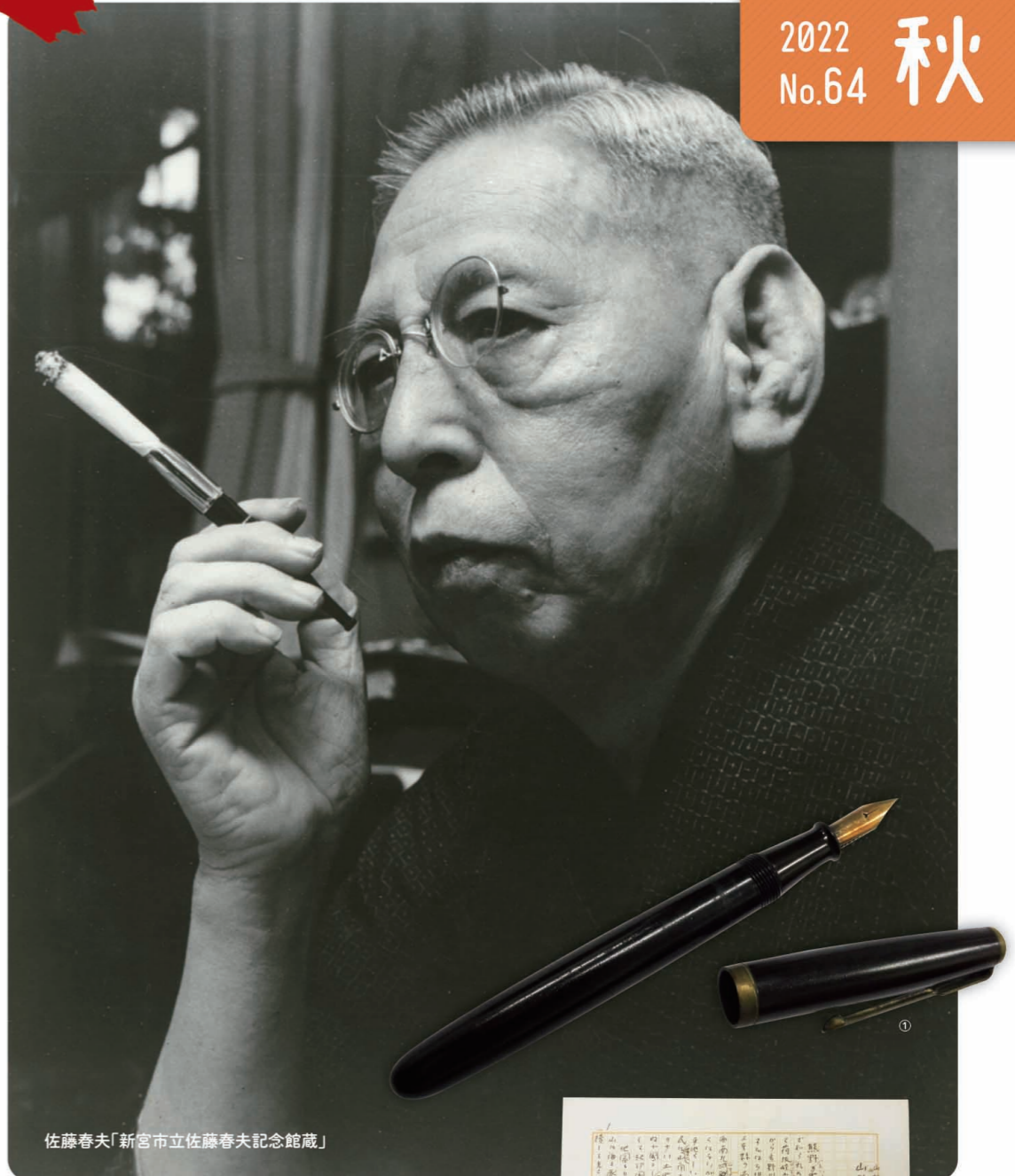
The Letter from Mie Prefectural Kumano Kodo Center からのてがみ

2022 秋 No.64

企画展

佐藤春夫 生誕130周年記念

詩人、作家、文明批評家 多様、多彩な文学世界と熊野



佐藤春夫「新宮市立佐藤春夫記念館蔵」

小説『田園の憂鬱』や詩集『殉情詩集』をはじめとした小説・詩のほか、エッセイや童話、戯曲など幅広い著作がある佐藤春夫は、明治25(1892)年4月9日に現在の新宮市に生まれ、今年で生誕130年となります。佐藤春夫は、新宮での少年時代をモチーフにした『わんぱく時代』や『熊野路』など、新宮や熊野を舞台にした著作が多数あり、故郷である新宮・熊野への強い思いを持っていました。本企画展では新宮市立佐藤春夫記念館のご協力で、記念館所蔵の草稿や愛用の品々などを展示します。また、長島のカンカラコボシと治郎左衛門などの民話をもとにした短編『山妖海異』など、東紀州にかかわる著作についてもご紹介します。



①万年筆、②山妖海異草稿、③新潮53-3、④山妖海異掲載頁



えのもとひさ氏のワークショップ「表現すること-ドローイング-」を開催しました。画家が講師の絵のワークショップというムズカシソウな気がしますが、とても楽しい体験でした。大きく分けて3つのワークがあったのですが、まずはなんと「目をつむって描く!」紙からはみ出してもOK、好きな色のクレヨンで3本握って、目を閉じると見えるかたちを描くイメ

スタッフコラム

ージで手を動かしました。続いて「線を描く」ワーク。クレパス・色鉛筆・マーカー・墨・絵具はもちろん紙を裂いて線を作ったりも。可能性は無限大でした。そうして創り出した線を使って、最後のワークで「好きなモノ」を描いたのでした。



バードコールづくり体験は、スタッフの予想に反して音を鳴らすことに大苦戦しましたが、何とか参加者全員が鳥の鳴き声を鳴らすことに成功しました。スタッフで原因を分析し次回への経験となりました。銅鏡づくり体験は熊野古道センター初のイベントでいろいろなのが未知数でしたが、最後の鏡面仕上げで参加者の方から驚きの声が上がったときはこちらでも感動しました。今回好評だったため、また開催したいと考えています。



お知らせ

LINE@ LINE@ (公式) LINE@ (公式) LINE@ (公式)

LINEアプリの友達リストを開き、右上にある「追加ボタン」(QRコード)をクリックして、QRコードリーダーで読み込んでください。

公式Twitter、Instagram随時配信中!

企画展、イベント情報、センター周辺のちょっとした話題など、随時更新しています。ぜひご覧ください。

写真、映像記録を探しています!

① 明治~昭和に撮影された熊野市の風景・街並み・祭り・行事・生活の様子等が分かる古写真
② 飛鳥神社例大祭(熊野市)の様子、特に子供神輿や割り箸神輿を捉えた写真や映像記録
当該写真や映像をお持ちの方はぜひご協力ください。(連絡は熊野古道センター事業課まで)

注意事項 ・提供ご本人が撮影した写真、または使用(複製・掲載・展示など)権を持つ写真に限ります。
・ご提供いただいた写真の全てを展示できない場合もございます。

センター敷地内「夢古道おわせ」

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」

深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上り後もポカポカです。

開館時間	10:00 ~ 21:00
入浴料 (平日)	一般 650円
	65歳以上 550円
	4歳~小学生 300円
	3歳以下 無料
入浴料 (土日祝)	一般 700円
	65歳以上 600円
	4歳~小学生 300円
	3歳以下 無料

毎月26日は風呂の日...お子様は通常300円が100円でご入浴できます。

「夢古道おわせ」に関するお問い合わせは TEL 0597-22-1124



お車でお越しの方は...
尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルピオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分) ※尾鷲南ICからは約8分

電車でお越しの方は...
JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分) 乗車→「熊野古道センター前」下車

熊野古道センターからのてがみ 2022年 秋号

- 発行日:2022年9月5日(季刊)
- 編集・発行:三重県立熊野古道センター (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当:小島
- 連絡先:〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4 TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667 Mail info@kumanokodocenter.com
- 開館時間:午前9時~午後5時
- 入場料:無料
- 休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道センター 検索

ホームページ

<https://www.kumanokodocenter.com/>
600002200905RK

旬の企画展

企画展 佐藤春夫生誕130周年記念 詩人・作家・文明批評家 多様・多彩な文学世界と熊野



詩人・作家の佐藤春夫は明治25(1892)年4月9日に現在の新宮市に生まれ、今年で生誕130年となります。新宮市立佐藤春夫記念館のご協力で、記念館所蔵の草稿や愛用の品々などを展示し、短編「山妖海異」など、東紀州にかかわる著作についてもご紹介いたします。

2022 9/17(土) ▶ 10/23日
●会期中無休
時間 午前9時～午後5時
入場料 無料
場所 企画展示室
協力 新宮市立佐藤春夫記念館

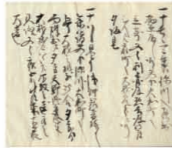
企画展 写真で懐古 故郷の暮らしと風景 ～熊野市～



大正～昭和にかけて撮影された熊野市の古写真を紹介します。熊野市の人々の暮らしとそれを取り巻く町の景観、未来に伝えていきたい文化財などを知っていただく機会とします。

2022 11/3(木) ▶ 12/4日
●会期中無休
時間 午前9時～午後5時
入場料 無料
場所 企画展示室

特別展示室企画展 古文書講座 成果展示



平成27年度から始まった連続講座「古文書からひも解く地域の暮らし」は、今年で8年目となります。尾鷲古文書の会員の皆様にご指導いただき、地域に残る古文書を解説してきました。本展ではこれまで学んだ古文書を、解説を交えて一挙にご紹介します。

2022 11/26(土) ▶ 12/15日
時間 午前10時～午後5時
入場料 無料
場所 特別展示室
●休館日 12月31日、1月1日

ロビー展 熊野曼茶羅



常設展の展示品をピックアップしてほりさげるクローズアップ展示。今回は熊野那智大社が描かれた『那智参詣曼荼羅』と、地獄極楽が描かれた『観心十界曼荼羅』、それらを持って熊野信仰をひろめた「熊野比丘尼」を紹介します。

2022 9/8(木) ▶ 10/31日
●会期中無休
時間 午前9時～午後5時
入場料 無料
場所 展示棟ロビー

連続講座 秋季 初心者のための山歩き入門

山歩き初心者の方、基礎を見直したい方、スキルアップを目指す方に。初心者には挑戦しにくいツツラト峠を踏破して自信をつけましょう。

第1回 2022 10/15(土) 午前10時～午後3時
第2回 2022 10/16(日) 午前7時30分～午後1時30分
●少雨実施
参加料 500円(保険料・資料代) ●別途交通費必要
定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 小学3年生以上(小学生は保護者同伴)
場所 第1回 体験学習室 / 第2回 ツツラト峠(熊野古道)
講師 宮本秀男 (熊野古道センター副センター長 日本スポーツ協会山岳コーチ2)
受付 10月1日(土) 午後5時まで

連続講座 秋季 山歩きステップアップ講座

山歩きの基本ができており、アップダウンの繰り返しにも耐えられる歩行技術を習得したい方、山中での予期せぬケガへの対処法などを学びたい方を対象とした山歩き講座を開催します。

第1回 2022 11/5(土) 午前9時～午後3時
第2回 2022 11/6(日) 午前6時30分～午後4時
●少雨実施
参加料 1,000円(保険料・資料代)
定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 健脚者
場所 第1回:熊野少年自然の家、長尾山 第2回:檜尾峠～小平(尾鷲トレイル)
講師 宮本秀男 (熊野古道センター副センター長 日本スポーツ協会山岳コーチ2)
受付 9月22日(木)～10月22日(土) 午後5時まで

交流イベント 熊野の絶景ツエノ峰 親子トレッキング



北山川の穿入蛇行が作り出す熊野の不思議な地形を観ながらの快適な登山が楽しめるツエノ峰を舞台に、親子で楽しめるトレッキングのコツをご提案します。

2022 11/26(土)
●雨天の場合11月27日(日)
時間 午前8時～午後2時
参加料 1組500円、3人以上の場合1,000円(保険料・資料代) ●別途交通費必要
定員 16名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 小学生以上
場所 ツエノ峰(熊野市紀和町) 集合・解散:ホテル湊流荘駐車場
案内人 宮本秀男 (熊野古道センター副センター長 日本スポーツ協会山岳コーチ2)
受付 10月12日(水)～11月12日(土) 午後5時まで

新熊野学講座 クモの世界をのぞいてみよう クモ学入門

熊野古道や周辺地域の歴史・文化・民俗・自然などについて、総合的に学ぶ講座です。今回は、講師に塩崎哲也氏をお迎えし、東紀州地域に生息するクモの世界についてお話を伺います。

2022 11/26(土)
時間 午後1時30分～3時30分
入場料 無料
定員 40名(要申込・先着順)
場所 映像ホール
講師 塩崎哲也氏(三重クモ談話会会員)
受付 10月26日(水)～11月25日(金) 午後5時まで
●定員になり次第終了



新熊野学講座 熊野川交通

現在、川の参詣道として世界遺産に登録され、かつては地域の生活物資の輸送で大きく賑わった熊野川。そんな熊野川の歴史や文化について、流域で唯一の川舟大工である谷上嘉一氏にお話をいただきます。

2022 12/4(日)
時間 午後1時30分～3時30分
入場料 無料
定員 40名(要申込・先着順)
場所 映像ホール
講師 谷上嘉一氏(熊野川体感塾代表)
受付 11月4日(金)～12月3日(土) 午後5時まで ●定員になり次第終了



イベント情報



知られざる熊野探訪ツアー 尾鷲発! 3大巨岩を巡るよこばりトレッキング

『象の背』『天狗岩』『岩屋堂』などパワースポットとしても人気の高い身近な巨岩・奇岩を巡るトレッキング。大地の成り立ちに思いをはせながら尾鷲の自然を満喫していただけるツアーです。

2022 9/23(金祝)
●雨天の場合9月24日(土)
時間 午前7時～午後4時
参加料 500円(保険料・資料代)
定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 健脚者
場所 便石山～天狗倉山～岩屋堂 集合・解散:三重県尾鷲庁舎駐車場
案内人 内山佳和氏(日本山岳ガイド協会認定登山ガイド、尾鷲救急隊)
受付 9月9日(金) 午後5時まで

知られざる熊野探訪ツアー 後師の道 トロトロ坂を歩く

かつて御浜町尾呂志から新宮方面へ向かう生活道であり、巡礼者や後師なども歩いた道「トロトロ坂」などを探訪するツアーを開催します。

2022 12/3(土)
●雨天の場合中止
時間 午前8時30分～午後3時
参加料 500円(保険料・資料代)
定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 健脚者
場所 トロトロ坂(御浜町地内) / 集合・解散:場所未定
案内人 清水鎮一氏(熊野古道語り部友の会幹事)
受付 10月19日(水)～11月19日(土) 午後5時まで

体験学習 お正月飾りづくり 卯年

特産の尾鷲ひのきを使って、玄関やお部屋に飾る来年の干支(卯年)にちなんだ置物を作ります。

2022 12/10(土)
時間 午前10時～正午
参加料 1,000円
定員 10名(要申込・応募多数の場合抽選)
場所 体験学習室
講師 池田比早子氏(NPO法人 海虹路)
受付 11月10日(木)～12月3日(土) 午後5時まで

体験学習 東紀州の四季を味わう料理教室

東紀州の特産品や食材の魅力を知っていただくための料理教室を開催します。
2022 10/23日 秋の味覚であるキノコ&蕨野町のマコモダケ 受付 9月23日(金・祝)～10月16日(日) 午後5時まで
2022 12/11日 クリスマスパーティプレート 受付 11月11日(金)～12月4日(日) 午後5時まで

知られざる熊野探訪ツアー 伊勢路 曾根次郎坂・太郎坂

尾鷲市と熊野市の境にある甫母峠を越えるツアーです。「曾根次郎坂・太郎坂」とも呼ばれるこのコースでは、曾根の貴重な史跡や美しい石畳を見ることが出来ます。

2022 11/27(日)
●雨天の場合中止
時間 午前8時30分～午後1時
参加料 500円(保険料・資料代) ●別途交通費など必要
定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 一般
場所 曾根次郎坂・太郎坂(熊野古道) / 集合・解散:JR二木島駅近駐車場
案内人 東公雄氏(熊野古道語り部友の会会長)
受付 10月20日(木)～11月13日(日) 午後5時まで



知られざる熊野探訪ツアー オハイ大配ブルーを訪ねて

九鬼原生林をぬけて、柱状節理の断崖と「オハイブルー」の海を見に行きます。

2022 12/17(土)
●雨天の場合12月18日(日)
時間 午前8時30分～午後3時
参加料 500円(保険料・資料代)
定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 中学生以上
場所 大配(尾鷲市九鬼町) / 集合・解散:九鬼コミュニティセンター駐車場
案内人 内山佳和氏(日本山岳ガイド協会認定登山ガイド、尾鷲救急隊)
受付 11月3日(木・祝)～12月3日(土) 午後5時まで



熊野古道自然学校 照葉樹の森 榎ヶ崎自然観察会

吉野熊野国立公園の特別保護区で、美しい景観と貴重な自然が残された「榎ヶ崎遊歩道」を阿古師神社付近まで散策しながら、沿岸地に生育する樹木や野草について学びます。

2022 10/15(土)
●雨天の場合10月16日(日)
時間 午前9時30分～午後12時30分
参加料 500円(保険料・資料代)
定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
場所 榎ヶ崎遊歩道(熊野市甫母町) / 集合・解散:榎ヶ崎駐車場
講師 山本和彦氏(三重自然誌の会会員)
受付 9月8日(木)～10月8日(土) 午後5時まで

熊野古道自然学校 銚子川ゆらゆら帯観察

淡水と海水が混ざり合う際にできるシロップのように揺らめく「ゆらゆら帯」を、カメラなどを使って観察します。

2022 10/29(土)
●雨天の場合10月30日(日)
時間 午前10時～正午
参加料 500円(保険料・資料代)
定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
場所 銚子川(紀北町便山) / 集合・解散:場所未定
講師 田上至氏(NPO法人ふるさと企画理事長)
受付 9月15日(木)～10月15日(土) 午後5時まで



和歌山県 世界遺産センター からのお知らせ

お問合せ先 和歌山県世界遺産センター
住所 和歌山県田辺市本宮町本宮100-1
TEL 0735-42-1044
FAX 0735-42-1560
E-mail e0624002@pref.wakayama.lg.jp

残暑の厳しい日差しも和らぎ、秋の気配が感じられる季節となりました。昨年度に引き続き、今年度も多くの団体の方が「道普請」に参加しています(下記参加団体と写真参照)。秋以降も多くの団体の参加が予定されています。道を修繕することで実際に世界遺産に触れ、世界遺産への理解と保全の意識を高めるという特別な体験を少しでも多くの方々にしていただきたいと思っています。また、10月からは「次世代育成事業」として、和歌山県内の児童生徒を対象に、世界遺産講座と現地学習を組み合わせた教育活動を行っていきます。本年度は22校が参加する予定です。

詳しくは当センターのウェブサイト <https://www.sekaiisan-wakayama.jp> をご覧ください。またご不明な点があれば当センターへお問い合わせください。



令和4年5月中旬～8月上旬までの道普請参加団体(敬称略)
一般財団法人さわかみ財団、KDDI株式会社、JATA日本旅行業協会、田辺市立新庄第二小学校、NHKグループ有志、49-3即応予備自衛官有志、ダイキン工業株式会社労働組合
道普請参加費は無料 ●諸般の事情により、遅延または中止、日程及び内容を変更する場合がございます。